

複雑形状の精密
ステンレス部品を砂型鑄造海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット

砂型鑄造で精密部品を製作できるのが強み

主な事業内容

ステンレス、銅合金製品の鑄造

主な取引先(納入先)

ポンプメーカー、バルブメーカー

主な製品

ポンプ向け部品(インペラ)、
鉄道車体加工用木型業務
内容大手ポンプメーカーに
インペラを供給

ヤナギモトはステンレス部品の砂型鑄造を行うメーカー。鑄型の中に置いて中空部分を形成する「中子」を用いての精密部品の製作得意としており、三次元の複雑形状となるポンプのインペラ(羽根車)を数多く手がけている。昭和29年に創業し、平成7年からステンレス鑄物の製造を始めた。特に、ここ5年はこれまで取引のなかった大手ポンプメーカーからの製品供給の依頼が相次いでいる。柳本喜満社長は「約7年前に試行錯誤を繰り返し、非常に高い精度の製品を納品できた。それが成功体験となり、スタッフの挑戦意欲が高まったことが取引拡大につながった」と振り返る。

強み
社内一貫生産体制で
付加価値を高める

鑄型の元となる木製の製品模型(木型)の製作から鑄造後の仕上げ加工や研磨まで社内での一貫生産体制を整える。国内の鑄物メーカーでは珍しく、同社の強みでもある。10年ほど前から汎用旋盤やNC旋盤、マシニングセンタ、ワイヤ放電加工機など、各種の加工機

を取り揃え、製品の付加価値を高めてきたことも近年の取引拡大につながっている。

元々、木型製作部門は外注先の会社だった。ヤナギモトが買収するかたちで資産と従業員を継承し、木型製作の内製化を実現した。買収前から請け負っていた、鉄道車両の先頭車両の車体加工で用いる実物大の木型製作も継続して引き受けている。

新規
事業
キャンプ用品の
開発に挑戦

海外の大手ポンプメーカーとの取引をめざし、令和5年には欧州の展示会への初出展を予定する。また、農業用水などを利用する小規模水力発電設備向けの部品を受注するなど、国内での新規分野の開拓にも力を入れる。柳本社長は「鑄物製のキャンプ用調理鍋を試作するなど、一般消費者向け商品の開発にも取り組んでいる」と話す。

令和4年秋には3Dプリンターを導入し、木型に代わるプロセスへの取り組みを始めたほか、景観鑄物や美術品などの新規分野開拓にも活用する。一つの成功体験により生み出された好循環をさらに拡大し、企業と従業員の成長につながようと同社の挑戦は続く。

社長あいさつ

代表取締役社長
柳本 喜満さん

まずは身内から、社員さんが会社に興味を持ってくれるような風土づくりを心がけています。また、ものづくり工場として「供給責任を果たす」ことを基本に、新しいこともチャレンジする、そんな「地道な挑戦」を続けられる企業でありたいと考えています。

主な保有設備

- 高周波溶解炉 ステンレス用ほか 富士電機製ほか 3基
- 木型用CAD/CAM NXほか Siemens Software製ほか 5台
- NC旋盤 VTR-160Aほか オークマ製ほか 10台
- 三次元測定機 VL-350ほか キーエンス製 2台
- レーザ溶接機 MOBILEFLEX LWI V FSS450W Vision Industries製 1台

ISO 9001

住 所 / 〒592-0001
高石市
高砂3-17
TEL / 072-268-0035
FAX / 072-268-0037
創 業 / 昭和29年1月
設 立 / 昭和63年2月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 77名



小規模水力発電設備向け部品



ポンプの重要部品となるインペラ


<https://yanagimoto.jp/>